



南小だより

さわやかなあいさつ 明るい教室 きれいな学校

学校教育目標 「心豊かにたくましく生きる児童の育成」

令和元年7月2日

かしこい子 やさしい子 たくましい子

第4号

今月の生活目標 「健康にすごそう」

川越市立高階南小学校

お話朝会「校長先生のお話」から

校長 肥留間 智子

毎月初めの火曜日には、お話朝会があります。お話朝会の「校長先生のお話」は、校長から子ども達に直接話ができる大切な時間だと考えています。子ども達の心に届く話になるように、話し方や内容を工夫しています。ご家庭でも子ども達との話題の中に取り上げていただくとありがたいです。各月の内容を簡単に紹介します。

5月 <さわやかなあいさつ> 「友達になるための魔法の言葉、あいさつ」

皆さん、こんな歌を知っていますか？「一年生になったら、一年生になったら、友達100人できるかな」たくさんの人と友達になりたいなあって思ったり、いろいろな人と何かを一緒にしたりするとき、ちょっと緊張したり嫌だなと思うことがありますよね。そんなときに気持ちが楽になる「魔法の言葉」が、校長先生はあると思っています。それが「あいさつ」です。高階南小学校の皆さんは、あいさつが上手だなんて思っています。でも、もっともっとあいさつでいっぱい学校になったら、すてきだなんて思っています。友達は100人といわずに、高階南小学校にいる全員の子も達402人とみんなが友達になって欲しいです。

そこで、校長先生から皆さんに宿題を出します。あいさつを、毎日それぞれ5人の人に自分からしてみましょ。もっとできる人はもっとたくさんの人にしてみましょ。校長先生も402人の皆さんとあいさつできるように頑張ります。



6月 <明るい教室> 「みんなのきらきら笑顔がいっぱい」

校長先生は、「明るい教室」とは「みんなの笑顔があふれる教室」だと思っています。笑顔は、相手が嫌な気持ちになるような「へらへら笑顔」ではありません。「きらきら笑顔」です。そのためには、まず、一人一人が、勉強や係活動など、自分がやらなくてはならないことに努力をして頑張っていること。「頑張ることは苦しいから、笑顔でいられない」と思うかも知れませんが、実は、頑張っている人はいつも「きらきら笑顔」です。次に、自分と同じくらい友達を大切に思い、「助け合い」ができること。教室には、たくさん友達がいるので、自分のことだけを考えていてはだめです。友達が頑張ったことを一緒に喜んだり、失敗や間違えがあっても励まし合えたりできると、みんなに支えられて安心でき、「きらきら笑顔」になれます。



さらに、きらきら笑顔があふれる明るい教室には、いじめはありません。自分のことと同じように人を大切に思うことができる人は、いじめをしません。もし、いじめをしている人を見たら、「ダメだよ」とちゃんとと言えます。

7月 <きれいな学校> 「掃除をすると、自分の心もきれいになる」

高階南小学校は、50歳で校舎も古いですが、決して汚い学校ではありません。どうして古いのに「きれいな学校」なのでしょう。それは、皆さんの先輩がこの学校を大切に用いてきたからだと思います。今、この学校をよっている皆さんは「きれいな学校」にしていますか？

自動車用品を販売するイエローハットの創業者鍵山秀三郎さんは、掃除を大切に用いる活動をしています。その掃除の活動に参加した5年生の作文です。

・・・「トイレにも心がある」という。だが私は「そんなことはあるものか」と思った。もうやけくそにゴシゴシやっていたが、ちっとも(汚れが)取れなかった。しかし、「トイレの心」を思い出して「きれいになるように」と思いながらこすると「つるっ」まるで本当に私の心が伝わったようだった。そして、本当にトイレの心がわかったように思った。私はびっくりした。トイレ掃除をよると私の心も磨けたような気がした。「トイレには心がある、そしてその心は人の思っていることがわかり、掃除をよっている人と同じような心の輝き方をする」このことに初めて気がついた。・・・

高階南小学校が、ずっと「きれいな学校」で居られるように、今ここにいる皆さんも掃除を頑張ることのできる心のきれいな子ども達になれるといいなと思います。

